

# 2026年度 愛知大学科目等履修生募集要項

本学は、大学教育の社会への開放及び生涯教育への対応として、科目等履修生制度を設けています。生涯学習の一環として大学教育の受講を志望する方を対象とします。

科目等履修生として許可された場合、履修し、修得した授業科目の単位を認定します。

科目等履修生を志望される方は、以下の諸点にご留意のうえ、所定の手続きをしてください。

※名古屋校舎開講科目の春学期出願時は時間割が確定していないため、事前に教務課までお問い合わせください。

## I. 出 願 手 続

### (1) 出願資格

出願するためには、次のいずれかに該当していなければなりません。

- ① 大学、短期大学及び高等専門学校の卒業者
  - ② 大学入学資格のある者（高等学校卒業者等）
  - ③ 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本大学において認めた者
- ※本学では、大学、短期大学及び高等専門学校の在学者については、本学との協定がある場合を除き、科目等履修生となることを原則認めていません。

### (2) 出願期間

〈春 学 期〉名古屋校舎開講科目：2026年2月20日（金）～ 2026年3月2日（月）

豊橋校舎開講科目：2026年3月23日（月）～ 2026年3月30日（月）

※秋学期開講科目及び通年講義科目の履修を希望する場合も、この期間に受付します。

なお、秋学期開講科目については、秋学期（下記期間）にも受付します。

〈秋 学 期〉名古屋及び豊橋校舎開講科目：2026年8月20日（木）～ 2026年8月26日（水）

〈受付時間〉月～金 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 16:30

### (3) 出願書類提出先

履修を希望する授業科目が開講されている校舎の教務課窓口へ下記（４）で指定する出願書類を直接提出してください。郵送での出願は受けません。

〈法学部・経済学部・経営学部・現代中国学部・国際コミュニケーション学部〉  
名古屋校舎 名古屋教務課：〒453-8777 名古屋市中村区平池町4丁目60-6  
TEL 052-564-6112（直通）

〈文学部・地域政策学部〉  
豊橋校舎 豊橋教務課：〒441-8522 豊橋市町畑町1-1  
TEL 0532-47-4117（直通）

#### (4) 出願書類

出願に必要な提出書類は、下表のとおりです。

【凡例】継続：前年度からの継続出願者 新規：当該年度新規出願者

○：必須 △：希望者のみ -：不要

	書 類 等	部数	※提出の可否		備 考
			継続	新規	
1	愛知大学科目等履修生 志願書	1枚	○	○	別添をダウンロードし、所定事項を記入 ※単位修得希望の有無を必ず記入すること
2	最終学歴の「卒業証明書」 及び「学業成績証明書」	各1通	-	○	
3	カラー写真 (縦3cm×横2.4cm)	右記	○ 1枚	○ 2枚	履修生志願書及び科目等履修生証用 <u>継続出願者で前年度の写真を使用する場合</u> は1枚 でよい。 <u>新規、継続とも1枚は上記1の志願書用</u> ※写真の裏面に氏名を記入のこと ※最新3ヶ月以内に撮影したもの、上半身・正面・脱 帽・背景無地、スナップ写真の切り抜き・インスタ ント写真は不可、コイン式証明写真自動撮影機の 写真は可
4	科目等履修生証用写真票	1枚	△	○	別添をダウンロードし、所定事項を記入 上記3の写真を1枚貼付のこと <u>継続出願者で前年度の写真を使用する場合</u> は提出 不要。
5	審査結果通知用封筒	1枚	○	○	本人の住所・氏名明記・110円切手貼付・長形3号
6	成績表送付用封筒	各学 期1枚	△	△	本人の住所・氏名明記・110円切手貼付・長形3号 ※窓口で受領する場合は不要
7	学力に関する証明書	1枚	-	△	教育職員免許状の取得を目的とする場合必要 ※本学卒業生のみ出願可 <u>※2019年度より教育職員免許法の改正に伴い、 カリキュラムが大幅に変更されているため、 後述『(5) 出願上の注意』の教職課程欄を よく確認のこと。</u>
8	志望理由書 履修計画書兼キャリア プラン計画書	1枚	-	○	教育職員免許状の取得を目的とする場合のみ必要 別添をダウンロードし、所定事項を記入

#### (5) 出願上の注意

- ① いったん履修を許可された授業科目の変更や取消しはできません。したがって、出願時に履修を希望する授業科目のシラバス（検索方法は後述）を十分に確認してください。  
※シラバスの確定時期は3月下旬を予定しているため、名古屋校舎開講科目の春学期出願期間において、次年度のシラバスが確定しておりません。参考までに、前年度シラバスで授業科目の内容等をご確認ください。ただし、前年度から内容等が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- ② 科目の曜日時限は、以下のとおり確認してください。  
【名古屋校舎開講科目春学期出願時】出願時に名古屋教務課までお問い合わせください。  
【上記以外】シラバスでご確認ください。
- ③ 集中講義科目については、春学期のみ出願できますが、通年扱いのため成績発表は秋学期となります。

④ 過去に単位を修得した授業科目は履修できません。

- ⑤ 学部等ごとに履修できない授業科目があります。詳細は別紙にて確認してください。  
各授業科目の部門・分野等や履修区分（必修／選択の別）の詳細は、各校舎教務課に確認をしてください。
- ⑥ 諸課程（教職・学芸員・社会教育主事・司書）の受講について
- ・ 本学卒業生のみ出願を認めています。
  - ・ 希望者は、出願期間開始の1週間前までに、履修を希望する授業科目が開講されている校舎の教務課に連絡し、必ず履修指導を受けてください。課程ごとに必要な書類、注意事項は以下のとおりです。

〔教職課程〕

- ・ 学力に関する証明書（発行には申請いただいてから約3週間を要します）

（注）「教育実習Ⅰ」に関しては、教科担当者等の指導を受けることを履修及び単位認定の条件とします。

〔学芸員課程・社会教育主事課程・司書課程〕

- ・ 成績証明書

## Ⅱ. 審査及び手続き

### (1) 審査

審査は、当該授業科目を開講している教授会等が行い、授業科目ごとに可否を決定します。

審査は、必要に応じて面接を行うことがあります（教育職員免許状の取得を目的とした出願者には、原則、面接を行います）。

※別紙の授業科目のほか、①履修者数を制限している授業科目や、②科目の特性、授業実施への影響等の事情、③学部履修者少数による開講取止め等により履修が許可されない場合がありますので、ご承知おきください。

### (2) 審査決定後の手続き

- ① 審査結果は、郵送で通知します。
- ② 許可決定者には手続き書類を送付します。通知書記載の指定期日までに手続きを完了してください。
- ③ いったん納入した科目等履修料は原則として返還致しません。

教授会等開催日の関係で、許可通知が授業開始日までに届かない場合がありますが、授業には出席して差しつかえありません。

※履修者数が少数の授業科目については、「開講取止」となる場合もあります。その場合、すでに納入された科目等履修料は返金します。

### (3) 履修登録単位の限度

履修登録できる単位数は、春・秋学期それぞれ22単位（通年44単位）を限度としています。

### (4) 科目等履修料

1 単位13,000円

### (5) 科目等履修生証（身分証明書）発行手数料

科目等履修生証発行手数料 1,000円（当該年度に限り有効）

「科目等履修生証」は、履修期間終了後速やかに教務課に返却してください。

### Ⅲ. 科目等履修生の取扱い

- (1) 教授会等の審査で当該授業科目の履修を許可され、指定期間内に科目等履修料の納入を含む所定の手続きを完了した後、「科目等履修生証」を交付します。
- (2) 科目等履修生は、許可を受けた授業科目について試験を受験することができ、合格した場合当該授業科目について単位の認定を受けることができます。
- (3) 科目等履修生は、申請にもとづき「科目等履修生証明書」、「成績証明書」及び「学力に関する証明書」の交付を受けることができます（所定の手数料が必要となります）。ただし、「通学証明書」及び「学生旅客運賃割引証明書」の交付を受けることはできません。
- (4) 科目等履修生は、本学図書館、情報メディアセンターなどを利用することができます。ただし、各施設の一部サービスに利用制限が設けられております。詳細は各施設へお問い合わせください。

### Ⅳ. そ の 他

#### (1) 2026年度の授業開始日

春学期      2026年4月8日（水）  
秋学期      2026年9月14日（月）

#### (2) 授業科目検索方法

出願を希望する授業科目は、Web上(LiveCampusU)で確認のうえ選択してください。  
利用方法は、以下のとおりです。

＜アクセス方法＞

愛知大学公式ホームページ <http://www.aichi-u.ac.jp/>

→ トップページの「LiveCampusU」をクリック

→ 「受験生、一般の方はこちら」をクリック

→ シラバス照会をクリック

→ 受講を希望する授業科目のシラバスを検索、閲覧

#### (3) 審査結果通知以後の大学からの連絡

学部学生への連絡と同様にLiveCampusU（一部掲示と併用）により行います。  
LiveCampusUを利用するためのIDとパスワードの発行には各校舎の情報メディアセンターにて手続きが必要です。LiveCampusUのIDとパスワードの発行手続きについては、教務課からご案内します。  
連絡事項等は見落としのないよう、掲示には常に注意してください。

#### (4) 本学大学院生が資格取得を目的として授業科目を履修する場合の取扱い

本学大学院生（研究生除く）が教職、学芸員、社会教育主事、司書の資格取得を目的として授業科目を履修する場合は、科目等履修生と同様の取扱いをします。名古屋校舎所属の学生は名古屋校舎で、豊橋校舎所属の学生は豊橋校舎で受講してください。

科目等履修料は不要ですが、学部在学学生と同様に下記の諸課程受講料の納入が必要です。

＜諸課程受講料＞※在学中有効

〔教職課程〕                      31,000円

〔学芸員課程〕                    31,000円

（必修科目は豊橋校舎にて開講。選択科目の一部を除く）

〔社会教育主事課程〕           28,000円

（必修科目は豊橋校舎にて開講。選択科目の一部を除く）

〔司書課程〕                      31,000円

（豊橋校舎のみ開講）

別紙：学部等ごとに履修ができない授業科目一覧

授業科目を開講している学部等	履 修 で き な い 授 業 科 目 等
法 学 部	海外法政セミナー入門、海外法政セミナーⅠ～Ⅳ、 海外事情Ⅰ～Ⅳ、海外インターンⅠ～Ⅳ、 入門演習、基礎演習、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文、法律学特殊講義、 政治学特殊講義、外国法政研究、判例研究（憲法）、判例研究（民事法）、 判例研究（刑事法）、模擬裁判Ⅰ・Ⅱ
経 済 学 部	経済データ分析、情報システム構築論Ⅰ・Ⅱ、総合マルチメディア論、 ウェブデザイン論、経済統計論Ⅰ・Ⅱ、政策・地域特殊講義、入門演習、基礎演習、 フィールドスタディ方法論、フィールドスタディ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究
経 営 学 部	経営統計、マーケティング・リサーチ、プログラミング入門、 社会とデータサイエンス、経営データ解析Ⅰ・Ⅱ、プログラミング論、 データベース論、コンピュータネットワーク論、シミュレーション論、 システムデザイン、地域経営分析論、公会計論、入門ゼミ、基礎ゼミ、 専門演習Ⅰ～Ⅳ、卒業論文、外国書講読Ⅰ～Ⅳ
現 代 中 国 学 部	中国語リスニングⅠ・Ⅱ、基礎中国語Ⅰ～Ⅷ、応用中国語Ⅰ～Ⅷ、 コミュニケーション中国語Ⅰ・Ⅱ、日中ビジネス会話Ⅰ・Ⅱ、Business English、 入門演習、基礎演習、専門演習Ⅰ～Ⅳ、卒業研究、 相互交流入門Ⅰ・Ⅱ、相互交流基礎、相互交流応用Ⅰ・Ⅱ、 ネットワーク情報論、ソフトウェア演習、中国データ分析、 中国語プレゼンテーションⅠ・Ⅱ、上級中国語Ⅰ・Ⅱ、 現地プログラム基礎、現地プログラム生活事前教育、 現地ライフレポート、中国文化講座、現代中国社会論、 現地インターンシップ事前研修、現地インターンシップ研究報告、 現地研究調査基礎、現地研究調査・報告
国 際 コミュニケーション学 部	<p>＜学部共通＞</p> <p>国際コミュニケーション学入門、フィールドワーク入門、メディアリテラシー入門、ウェブデザイン入門Ⅰ・Ⅱ、国際交流活動Ⅰ～Ⅳ、英語検定試験Ⅰ・Ⅱ</p> <p>＜英語学科＞</p> <p>入門ゼミ、国際フィールドワークⅠ・Ⅱ、演習Ⅰ～Ⅳ、卒業研究、 Basic Communication Skills Ⅰ・Ⅱ、Developing Communication Skills Ⅰ・Ⅱ、Intermediate Communication Skills Ⅰ・Ⅱ、Advanced Communication Skills Ⅰ～Ⅳ、Basic Writing、Paragraph Writing、English Presentations and Writing Ⅰ・Ⅱ、Academic Writing、English Language and Culture、English Grammar Ⅰ・Ⅱ、Mass Media English、Business English Ⅰ～Ⅳ、Business Communication、Tourism and Airline Industries、Global Legacies: History, Language, Culture、日英通訳法、英語音声学</p> <p>＜国際教養学科＞</p> <p>入門ゼミ、国際教養ゼミ、SeminarⅠ～Ⅳ（Pre seminarⅠ・Ⅱ、SeminarⅠ・Ⅱ）、 国際政治経済学、アジア共同体の平和学、演習Ⅰ～Ⅳ、卒業研究、国際フィールドワークⅠ・Ⅱ</p>

名古屋共通教養科目	Reading I～Ⅳ、Communicative English I・Ⅱ、 Practical English、TOEIC I～Ⅲ、 Communication Skills I～Ⅳ、ドイツ語入門 I・Ⅱ、 ドイツ語基礎 I・Ⅱ、ドイツ語応用 I・Ⅱ、 ドイツ語演習 I～Ⅵ、フランス語入門 I・Ⅱ、 フランス語基礎 I・Ⅱ、フランス語応用 I・Ⅱ、 フランス語演習 I～Ⅵ、中国語入門 I・Ⅱ、 中国語基礎 I・Ⅱ、中国語応用 I・Ⅱ、中国語演習 I～Ⅵ、 韓国・朝鮮語入門 I・Ⅱ、韓国・朝鮮語基礎 I・Ⅱ、 韓国・朝鮮語応用 I・Ⅱ、韓国・朝鮮語演習 I～Ⅵ、 ロシア語入門 I・Ⅱ、ロシア語基礎 I・Ⅱ、 ロシア語応用 I・Ⅱ、ロシア語演習 I～Ⅵ、 タイ語入門 I・Ⅱ、タイ語基礎 I・Ⅱ、タイ語応用 I・Ⅱ、 タイ語演習 I～Ⅵ、日本語 I～Ⅷ、日本事情 I・Ⅱ、 Current English I・Ⅱ、Writing I・Ⅱ、Advanced Reading I・Ⅱ、 English Seminar I～Ⅳ、プレゼンテーション技術、 マルチメディア表現法、社会データ分析入門、情報の科学、プログラミング、 情報リテラシー・入門、情報リテラシー・応用、総合演習 I・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、 日本発信基礎・日本発信応用、データサイエンス入門
-----------	---

文 学 部	<p>&lt;学部必修科目&gt;          文学部総合研究、卒業論文、入門講義（現代文化）、入門講義（社会学）、入門講義（歴史・地理学）、入門講義（日本語日本文学）、入門講義（欧米言語文化）、入門講義（心理学）、入門演習（現代文化）、入門演習（社会学）、入門演習（歴史・地理学）、入門演習（日本語日本文学）、入門演習（欧米言語文化）、入門演習（心理学）</p> <p>&lt;人文社会学科&gt;          全専攻の基礎演習、全専攻の演習          （現代文化コース）          表現実習、現代文化基礎演習、メディア芸術基礎研究法、メディア芸術批評実習Ⅰ/Ⅱ、メディア芸術基礎実習Ⅰ/Ⅱ、マルチメディア制作実習Ⅰ/Ⅱ、情報デザイン論実習Ⅰ/Ⅱ、メディア芸術特殊実習、メディア芸術特殊講義、演劇論、現代文化特殊研究Ⅰ/Ⅱ          （社会学コース）          社会調査入門、社会調査法Ⅰ、社会調査法Ⅱ、社会調査実習          （欧米文化コース）          Academic WritingⅠ・Ⅱ、Oral Comprehension（英会話初級）、Oral Strategies（英会話初級）、Current IssuesⅠ～Ⅳ、New Media English、Principles of FLT</p> <p>&lt;歴史地理学科&gt;          全専攻の基礎演習、全専攻の演習          日本史学講読A、日本史学講読B、日本史学講読C、世界史学講読Ⅰ、世界史学講読Ⅱ、地域分析、地図学、地理学フィールドワーク実習</p> <p>&lt;日本語日本文学科&gt;          基礎演習、演習</p> <p>&lt;心理学科&gt;          心理学概論、心理学実験Ⅰ/Ⅱ、心理的アセスメント、心理学統計法、心理学研究法、学習・言語心理学、比較心理学、臨床心理学概論、健康・医療心理学、心理演習Ⅰ～Ⅳ、知的情報処理論、教育・学校心理学、認知科学、障害者・障害児心理学、応用行動分析、神経・生理心理学、心理学的支援法、公認心理師の職務、関係行政論、心理実習、組織行動マネジメント</p>
地 域 政 策 学 部	学習法、研究法、アカデミック・ライティング、ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、地域政策入門、公共政策入門、経済産業入門、まちづくり・文化入門、健康・スポーツ入門、食農環境入門、データ分析論、地域貢献論特殊講義、地域統計論、インターンシップ、GIS 演習Ⅰ・Ⅱ、地域政策とGIS活用、GIS 特論 まちづくりとデータ分析、健康行動論、スポーツ・バイオメカニクス、スポーツ心理学、セーフティ・マネジメント、アダプテッド・スポーツ演習、文化情報・メディア論 食品加工論、食農環境演習Ⅰ、食農環境演習Ⅱ
豊 橋 共 通 教 養 科 目	数理・情報分野、総合分野（「総合科目8（愛知大学の歴史）」を除く）及びスポーツ・健康分野の全科目
教 職 課 程	<p>&lt;名古屋校舎&gt;          小中学校連携教育論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ</p> <p>&lt;豊橋校舎&gt;          小中学校連携教育論Ⅰ、Ⅱ</p>